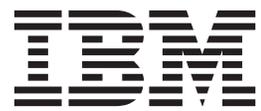


IBM Contact Optimization

バージョン9 リリース 1.1

2014 年 11 月 26 日

リリース・ノート

The IBM logo is centered on the page. It consists of the letters 'IBM' in a bold, black, sans-serif font. Each letter is composed of eight horizontal bars of equal thickness, with the top and bottom bars being slightly longer than the middle six bars.

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、13 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Contact Optimization バージョン 9、リリース 1、モディフィケーション 1、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM Contact Optimization
Version 9 Release 1.1
November 26, 2014
Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2003, 2014.

目次

システム要件と互換性	1	IBM 技術サポートに問い合わせる前に . . .	11
バージョン 9.1.1 の新機能と変更点	1	特記事項	13
修正された問題	3	商標	15
既知の問題	4	プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考 慮事項	15
既知の制限	6		
バージョン 9.1.0 の新機能および変更点	8		

システム要件と互換性

このセクションでは、IBM® Contact Optimization の今回のリリースについて以下の情報が提供されます。

- システム要件および互換性情報をどこで入手できるか
- サード・パーティーのソフトウェアへのサポートの変更点

Contact Optimization は、IBM EMM スイート製品の一部として作動します。

Contact Optimization バージョン 9.1.1 には、IBM Campaign 9.1.1 が必要です。

Contact Optimization 9.1.1 へのアップグレードは、Contact Optimization バージョン 9.1 から行えます。手順については、「*IBM Contact Optimization* インストール・ガイド」を参照してください。

Contact Optimization は 64 ビットのオペレーティング・システムのみをサポートします。

完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM EMM 製品のバージョンのリストおよびこの製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件」という文書を参照してください。この文書は、IBM サポート・ポータル Web サイト (<http://support.ibm.com>) の『詳細なシステム要件 (Detailed System Requirements)』の下に掲載されています。

注：サポート・ポータルから IBM EMM の文書にアクセスするには、IBM アカウントでログインする必要があります。このアカウントは、ご使用の IBM お客様番号に結び付けられている必要があります。アカウントの IBM お客様番号との関連についての詳細は、サポート・ポータルの「サポート・リソース」 > 「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

IBM EMM にログインした後、「ヘルプ」 > 「製品資料」を選択することによって、この文書にアクセスすることもできます。

バージョン 9.1.1 の新機能と変更点

IBM Contact Optimization のバージョン 9.1.1 で以下の新機能および変更が導入されました。

IBM ExperienceOne Knowledge Center

バージョン 9.1.1 から、製品資料を IBM ExperienceOne Knowledge Center で参照できるようになりました。これには、ExperienceOne ファミリーの全製品の資料が含まれます。IBM ExperienceOne Knowledge Center を使用して、以下を行うことができます。

- 特定の製品についてすべての資料を検索する。

- スイート内のすべての製品にわたって検索する。
- トピックにブックマークを付ける。
- 特定のトピックへのリンクを共有する。
- IBM のサポートや教育リソースにアクセスする。

共通のタスク、トラブルシューティング、およびサポート資料を参照する方法は以前のリリースと同様で、各製品の「ヘルプ」メニューを使用します。例えば、「ヘルプ」>「製品資料」や「ヘルプ」>「このページのヘルプ」などです。他のすべての IBM 製品の資料を入手するには、IBM Knowledge Center (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/>) を使用します。

Contact Optimization セッションのテスト実行

PCT データのサブセットでテスト実行を行うことによって、実稼働実行の前に Contact Optimization セッションを調整できます。Contact Optimization セッションがアクセスする可能性のあるコンタクトとオファーの情報を生成するフローチャートをすべて実行した後で、作成した Contact Optimization セッションを実行できます。セッションのテスト実行を行って、最適化の結果が予想した通りの結果かどうかを確認する必要があります。結果を確認した後、実稼働実行を行って最終的なデータのセットを生成します。

パフォーマンス向上のためのトランザクション照会の最適化

データベース固有のビューではなく、一時表を使用することにより、パフォーマンスを向上できます。属性フィルター照会 (AFQ) を最適化し、パフォーマンスを向上させるには、一時表の使用を有効にできます。一時表を有効または無効にするには、Contact Optimization セッション・レベルの「拡張設定」>「データベースの調整」に移動して、「一時表を有効にする」を「True」に設定します。このパラメーターは、構成設定の

「Affinium|Campaign|partitions|partition1|Optimize|DatabaseTuning|AllowTempTables」でも構成できます。一時表を使用すると、大きいセッションのパフォーマンスが向上するため、この設定はデフォルトで有効になっています。

分散インストール用に Contact Optimization から切り離された CAMPAIGN_HOME

Contact Optimization リスナーと関連するサーバー・ユーティリティを、Campaign とは切り離して実行できます。Contact Optimization と Campaign が別々のシステムにある場合、9.1.1 以降では、Campaign インストール済み環境用の Campaign ディレクトリーを、Contact Optimization をホストするシステム上のネットワーク・ドライブとしてマウントする必要はありません。CAMPAIGN_HOME 環境変数の設定に関連した依存関係が削除されました。

最適化後フローチャートにおける MailList プロセスのパフォーマンスが改善された

最適化後フローチャートにおいて、最適化リストから ID のサブセットが抽出されたときに、選択された ID のセットでより効果的に機能するよう処理ロジックが拡張され、ランタイム・パフォーマンスが改善されました。これは、抽出中に照会されるデータ・セットに対する制約の改善によって実現しました。

パフォーマンスをさらに向上するためのインデックスの追加

各オーディエンスのセグメント・メンバーシップ・テーブル、コンタクト履歴テーブル、および詳細コンタクト履歴テーブル、そして各セッションの PCT テーブル、POA テーブル、RC テーブルにインデックスを付けることに加え、インデックスを付けてテーブル統計を更新することで Contact Optimization セッションの実行パフォーマンスを改善できるテーブルが他にもあります。デフォルトでは、Contact Optimization インストーラーはキャンペーン・テーブルにこれらの追加のインデックスを追加しません。これらのインデックスは、Contact Optimization セッション照会の実行が予期していたよりも遅い場合にのみ追加してください。インデックスをさらに追加すると、これらのテーブルに対する挿入や更新といった更新照会のパフォーマンスが低下する可能性があります。以下のデータベース固有の SQL スクリプトを手動で実行することによって、これらのインデックスを追加したりテーブル統計を更新したりできます。

1. aco_extra_indexes_db2.sql
2. aco_extra_indexes_sqlsvr.sql
3. aco_extra_indexes_ora.sql

これらのスクリプトは、<OPTIMIZE_HOME>/ddl フォルダにあります。各スクリプトには、インデックスの削除、インデックスの作成、およびテーブル統計の更新の 3 つのセクションがあります。インデックス・スクリプトは 1 度だけ実行する必要があります。ただし、テーブル統計照会の更新は、テーブル統計を最新の状態にしておくために定期的に行う必要があります。これらのテーブル統計照会は、大規模な Contact Optimization セッション実行が起動される前に実行するよう推奨されています。

注: 3 つのすべてのスクリプトに、デフォルトの詳細なコンタクト履歴テーブル (UA_DTLCONTACTHIST) のための SQL スクリプトが含まれます。Contact Optimization セッションが他の対象者レベルで定義されている場合、インデックスおよび統計 SQL 照会は、適切な詳細コンタクト履歴テーブルに対して実行される必要があります。

修正された問題

このセクションでは、IBM Contact Optimization バージョン 9.1.1 で修正された問題をリストしています。問題は、問題番号、そしてインシデント番号 (当てはまる場合) の順に並んでいます。

問題 ID	説明
問題 134432	ユーザーは、Contact Optimization セッションを作成した後に「キャンペーン」フローチャートを作成すると、「抽出」プロセス・ボックスにある「最適化されたリスト」を選択できません。
問題 164682	スコア行列の IBM Contact Optimization 計算値が無視されます。
問題 155587	特殊文字を Contact Optimization のセッション名フィールドに入力することができません。
問題 147055	循環依存関係にある「A と B を共に送らない」ルールが多く含まれる特定のケースで、IBM Contact Optimization によって準最適な結果が生成されました。

問題 ID	説明
問題 134478	ゼロ以外の最小値が設定された複数の「顧客ごとの最小最大数」ルールで構成され、戦略的セグメントを使用し、周期期間を使用しない IBM Contact Optimization セッションが、準最適な結果を返すことがありました。
問題 50961	ネットワーク速度が極端に遅いと、構成によっては、SSO トークンがタイムアウトになり、「スケジュールされた実行」ページでセッション実行の失敗ステータスが正しく表示されないことがありました。

既知の問題

このセクションでは、Contact Optimization 9.1.1 における既知の問題をリストします。

問題	問題 ID	説明
Campaign Contact Optimization のサマリー・レポートが正しくない。	問題 176368	ルールで複数のオファー・バージョンが使用されている場合、最適化前の数と最適化後の数を対比で表示するレポートで、最適化前のレコード数が常に 1 と報告されます。最適化後の数は正確です。
パスワードの有効期限が切れている場合でも、リスナーがログイン・エラーを示す。	問題 175554	Campaign リスナーおよび Contact Optimization リスナーについては、パスワードの有効期限が切れている場合でも、ユーザーに対してパスワードの有効期限切れのエラーではなく、ログイン失敗のエラーが表示されます。
ContactOptimization-zh_CN, KO: 4 ページ目のレイアウトと配置に問題がある。	問題 7637	韓国語および中国語 (簡体字) のユーザー・インターフェースについて、Contact Optimization セッションにおけるいくつかのメッセージのレイアウトと配置に問題があります。
Campaign を 9.1 にアップグレードした後に、Optimize リスナーを ACOServer.sh から停止できなくなった。	問題 81245	ユーザーは Campaign と Contact Optimization を同時にアップグレードする必要があります。それができない場合は、manager/kill コマンドを使用して、手動で Contact Optimization リスナーを停止する必要があります。
マルチバイトのオーディエンス・レベル名を使用すると Contact Optimization セッションの作成は失敗する。	問題 121703	マルチバイト文字を使用する非英語言語がオーディエンス・レベル名に使用された場合、Contact Optimization はそのオーディエンス・レベルを含む Contact Optimization セッションを作成することに失敗します。この問題を回避するには、オーディエンス・レベル名に英語か 1 バイト文字セットを使用してください。
ACOOptAdmin ユーティリティーのエラー・メッセージが非英語のロケールに従って表示されない。	DEF051284	英語以外のロケールで ACOOptAdmin コマンド・ライン・ユーティリティーを実行するとき、指定されたロケールに従ったエラー・メッセージが表示されません。エラー・メッセージは英語でのみ表示されます。

問題	問題 ID	説明
Campaign リスナーによって使用されるのと同じ非英語ロケールを Contact Optimization リスナーは自動的に使用しない。	ENH11618	<p>非英語のロケールを使用してインストールされた Campaign および Contact Optimization のインストール済み環境では、Contact Optimization リスナーは常にインストールされたロケールではなく英語で開始します。</p> <p>この問題を回避するには、Contact Optimization リスナーを開始するために使用したコマンド・ウィンドウまたはバッチ・ファイル (ACOServer.bat または ACOServer.sh) で、set LANG=xx_XX を使用して以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラジル・ポルトガル語 - pt_BR • フランス語 - fr_FR • ドイツ語 - de_DE • イタリア語 - it_IT • 日本語 - ja_JP • 韓国語 - ko_KR • 中国語 (簡体字) - zh_CN • スペイン語 - es_ES <p>UNIX システムでは以下のコマンドを使用します。</p> <pre>LANG=xx_XX export LANG</pre>
unprocessables_sessionid.csv にオファーを受けた顧客が含まれている可能性がある。	DEF054841	一部のシナリオでは、オファーを受けた少数の顧客が unprocessables_sessionid.csv ファイルに含まれている可能性があります。
特定の環境ではカスタム・キャパシティー・ルールの最適化の結果が不正確である。	DEF058362	<p>以下の基準を満たす顧客は、受け取るオファーが希望していたよりも少なくなる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 顧客の推奨トランザクションが偶数である。 • これらの各トランザクションは同じスコアである。 • このスコアは低い値である。
いくつかのラベルが、日本語、中国語、および韓国語で正しく表示されません。	DEF059595	いくつかの翻訳されたラベルが正しく表示されていません。例えば、スコア行列を手動で編集した場合、テーブルの右側の垂直ラベルは逆さまに表示されます。また、「セグメント内の顧客」を含む最適化ルールの場合、「セグメント」ラベルは 2 行に表示されます。
「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートで、各カスタム・キャパシティー・ルールによって削除される推奨コンタクト数が不正確に表示される。	DEF059805	この Contact Optimization セッションの参加フローチャートに複数のコンタクト日付および異なるチャネルの各顧客に対する複数のオファーが含まれている場合、「オファー・サマリー」レポートでカスタム・キャパシティー・ルールの「このルールにより除外」列には不正確な数が表示されます。

問題	問題 ID	説明
オファー・バージョンの照会ビルダーの問題。	DEF060676	オファー・バージョンの照会ビルダーに以下の小さい問題があります。 <ul style="list-style-type: none"> 選択ボックスのフォーム要素タイプを持つカスタム属性の場合、オファー・バージョンの照会ビルダーは選択ボックスを使用しません。値を手動で入力する必要があります。 グループ・レベルが削除された場合、サブグループの条件が親の条件に追加されず (逆もまた同様)。 ストリング変数用にすべての算術演算子が表示されていますが、適用されるのは「等しい」と「等しくない」だけです。 条件の入力の際に、属性の定義された長さは検証されません。
日付を含んだオファー・バージョン・ルールは予期した最適化結果を提供しない。	DEF061554	日付を含んだオファー・バージョン条件を作成した場合 (例えば、オファー・パラメーター「valid end date」が「12/31/2011」に等しい)、オファー・バージョン条件を含むルールは満たされない場合があります。ただし、それ以外のルールは予期した通りに動作します。
暦年をまたがるルール例外は不正確な結果になる。	DEF061639	暦年をまたがる (例えば、2011/07/01 から 2012/06/30)「最小/最大オファー数」キャパシティー・ルールのルール例外を作成した場合、ルールの例外条件を含むルールは満たされない場合があります。ただし、それ以外のルールは予期した通りに動作します。

既知の制限

このセクションでは、Contact Optimization 9.1.1 における既知の制限をリストします。

問題	番号	説明
実稼働またはテストのポップアップ・ウィンドウ内の文字列が翻訳されていない。	問題 176920	英語以外のセットアップにおいて、実稼働またはテストのポップアップ・ウィンドウの文字列が翻訳されていません。
Contact Optimization セッションの稼働状況は不整合のないものでなければならない。	問題 171288	Contact Optimization サーバーが異常終了した場合、この不整合が発生します。ClearHistory ボタンをクリックして最後の稼働状況をクリアできます。ただし、これを行うと、個々の Contact Optimization セッションの履歴レポートも削除されます。
次のデータベース・エラーによって MailList プロセスが失敗する: ORA-00999: INVALID VIEW NAME.	問題 170951	UA_SYSTEM_TABLES で UseTempTablePool の値を TRUE から FALSE に変更します。これにより、MailList の実行が正常に終了します。
Contact Optimization が、実行中に開かれる unica_acsvr プロセスを終了しない。	問題 164875	Marketing Platform スケジューラーを使用して Contact Optimization セッションをスケジュール実行する場合、複数の unica_acsvr ログイン・プロセスが表示されます。これらのプロセスは、しばらくすると自動的に終了する可能性があります。

問題	番号	説明
Marketing Platform スケジューラーが、複数のフォルダーにある Contact Optimization セッションを認識できない。	問題 157537	Contact Optimization セッションの 2 つのサブフォルダー・レベルにある Contact Optimization セッションをスケジューリングすると、次のエラーが表示されることがあります: 指定された名前のセッションが見つかりません (Unable to find a session with the specified name)。
DB2 データベース・ユーザーがシステム・テーブルを変更すると、管理者が同じ名前のインデックスを持っている場合、Contact Optimization セッションが失敗する。	問題 155876	セッションが失敗するのを回避するためには、DB2 データベース管理者がインデックスを削除する必要があります。
オファーまたはセグメントを追加または削除しようとすると、Campaign エラー・メッセージが表示される。	問題 134440	オファーまたはセグメントを追加または削除すると、スケジューリングされたセッションの Contact Optimization 「セッション・サマリー」 ページから、Campaign エラー・メッセージが表示されます。
Contact Optimization セッションの実行コマンドが最新のリンクに取り込まれた。	問題 177376	最新のリンクを使用してセッションに移動する場合は、直接 URL を貼り付けてセッションを実行できます。
Contact Optimization レポートで、タイプおよびセグメントごとのオファーが思い通りに印刷されない。	問題 102889	Contact Optimization レポート内のタイプおよびセグメントごとのオファーを印刷している間に以下の問題が見つかりました。 1. サイズを変更しないとプレビュー・ウィンドウをスクロールできない。 2. 印刷の際、A4 サイズに収まるものしか印刷されない。印刷オプションでは解決できないようである。
負のスコアは不正確なルールのクレジットの原因となる。	DEF041400	負のスコアを使用した場合、「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートのルールのクレジットは正確でない場合があります。 負のスコアを使用したオファーは、最小要件を満たすためだけに指定されます。
オファーの割り当てがある TCS にリンクされているセルは Optimize プロセスに表示されない。	DEF061355	Optimize プロセスが 1 つ以上のセルに接続され、その後アップストリーム・セルがターゲット・セル・スプレッドシートのプロセス (TCS) で定義されているトップダウン・セルにリンクされる場合、TCS に割り当てられているオファーは Optimize プロセスに自動的に表示されません。TCS にある任意のトップダウン・セルにリンクしてから、それらのセルを Optimize プロセスに接続してください。それ以外の場合、Optimize プロセス内の同じオファーを手動で割り当てるか、または Optimize プロセスを削除した後に再作成する必要があります。
片方向 SSL で AC00ptAdmin ユーティリティを実行するにはさらにセットアップが必要。	DEF046832	セキュリティ証明書を登録し、ホスト名およびドメインを指定し、AC00ptAdmin.bat ファイルで SSL_Options を構成しないと、AC00ptAdmin ユーティリティを片方向 SSL で使用することはできません。

問題	番号	説明
unica_acosvr プロセスが停止した場合に最初の試行でセッションを実行することができない	DEF055010	<p>kill コマンドを使用して unica_acosvr を停止して、次に Contact Optimization セッションを実行しようとした場合、「IBM Optimize サーバー・プロセスで不明な通信障害が発生しました (An unknown communication failure has occurred with the IBM Optimize server process)」というエラーで失敗する可能性があります。</p> <p>回避策 - Contact Optimization セッションを再度実行して正常に完了させてください。</p>

バージョン 9.1.0 の新機能および変更点

IBM Contact Optimization のバージョン 9.1.0 で以下の新機能および変更が導入されました。

Agent Capacity Optimization

9.1 リリースでは、Contact Optimization ユーザーはブランチまたはエージェント・チャンネルを通じて Optimization も使用できるようになりました。Agent Capacity Optimization を使用して、エージェントからの重要度の高いオファーを、重要度の高いコンシューマーに順序指定します。特定のオファーを一部のエージェントを通してコンシューマーにルーティングすることによって、重要度の高いコンシューマーと一対一のコンタクトが確保され、マーケティングへの投資に対するリターンを増やすことができます。Contact Optimization セッションを作成する間に Agent Capacity Optimization を使用するには、エージェント・チャンネルとみなされるキャンペーン・チャンネルを宣言する必要があります。このチャンネルを介して推奨されるすべてのオファーはエージェントを介して順序指定されます。セッションに対して Agent Information テーブル 1 つと、Agent Customer Relationship テーブル 1 つを指定します。次に、エージェント・チャンネルで「クロス・カスタマーの最小/最大オファー数 (Cross Customer Min/Max # Offers)」キャパシティー・ルールを定義します。

UpdateSessionTableStatistics

UpdateSessionTableStatistics パラメーターは、Optimize セッションの実行中に PCT テーブル、RC テーブル、および POA テーブルの統計を更新するための照会を追加します。このパラメーターは、他のセッションに影響を与えることなく、セッション・レベルでチューニングできます。インデックスの統計を最新のものにしておくことによって、これらのテーブルの照会のパフォーマンスを向上させることができます。このパラメーターは、Optimize のグローバル構成設定にもあります。

iLog による FICO 置換

Contact Optimization は、各キャンペーン・ターゲットに対する最善のオファーを選択するために必要な数値計算を、これまでの IBM 以外の技術の代わりに、IBM CPLEX® Solver を使用して実行するようになりました。IBM 独自の最適化技術の使用により、IBM の示したロードマップが順調に遂行され、製品チームの今後の密な共同作業が可能になり、それによって Contact Optimization 製品は常に最高のパフォーマンスを発揮するようになります。

最大キャパシティー消費を有効にする

チャンネル・キャパシティーを活用しない Contact Optimization 結果戻された場合、EnableMaxCapacityConsumption を有効にしてチャンネル・キャパシティーのロスを削減します。次に、Contact Optimization セッションを再実行します。パラメーターが EnableMaxCapacityConsumption true に設定されている場合、Contact Optimization はクロス・カスタマー・ルール (最小/最大オファー数キャパシティー・ルールおよびカスタム・キャパシティー・ルール) を満たすように、強化されたアルゴリズムを使用します。ただし、これが使用される場合、セッションに提供するデータによってはセッションの実行時間が長くなる可能性があります。

IBM EMM インストールおよびアップグレードの改善点

インストール・プロセスおよびアップグレード・プロセスの改善点として、以下の点があります。

- 全製品のインストール・ガイドが書き直され、個別のインストール・ガイドおよびアップグレード・ガイドに再編成されています。これにより、情報が見つけやすく、また使いやすくなりました。
- インストーラーが拡張され、入力する必要がある情報の説明が改善されています。また、インストールの各段階で取るべきステップが分かりやすくなっています。
- 各インストーラーに、製品のインストール・ガイドおよびアップグレード・ガイド (PDF 形式か HTML 形式のいずれか) への直接リンクが提供されています。

ターゲット・セル・スプレッドシートに関する文書の変更

「Contact Optimization ユーザー・ガイド」の『ターゲット・コントロール・スプレッドシートと事前に最適化されたフローチャート (The target control spreadsheet and pre-optimization flowcharts)』は『ターゲット・セル・スプレッドシートと事前に最適化されたフローチャート (The target cell spreadsheet and pre-optimization flowcharts)』に変更されました。

また、事前に最適化されたフローチャートで、TCS コントロール・セルを Optimize プロセス・ボックスに関連付けないようにしてください。最適化をした後で、コントロール・セルを宣言してください。

IBM 技術サポートに問い合わせる前に

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口の方が IBM 技術サポートに問い合わせることができます。以下のガイドラインを使用して、問題が効果的かつ成功裏に解決するようにしてください。

貴社の指定のサポート窓口以外の方は、必要な情報についてお客様の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートが API スクリプトを記述したり作成したりすることはありません。API オファリングを実装するための支援が必要な場合は、IBM Professional Services に連絡してください。

収集する情報

IBM 技術サポートに問い合わせる前に、以下の情報を収集してください。

- 問題の性質についての簡単な説明。
- 問題発生時に表示される詳細なエラー・メッセージ。
- 問題を再現するための詳細な手順。
- 関連したログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 『システム情報』で説明されている方法で取得できる、製品とシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、お客様の環境に関する情報の提供をお願いすることがあります。

生じている問題によってログインが妨げられていなければ、この情報の多くを、インストールされている IBM アプリケーションについての情報を示す「バージョン情報」ページから取得できます。

「バージョン情報」ページには、「ヘルプ」>「バージョン情報」と選択することでアクセスできます。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合には、アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを調べてください。

IBM 技術サポートの連絡先情報

IBM 技術サポートに連絡する方法については、IBM 製品の技術サポートの Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するためには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは、IBM 顧客番号とリンクされている必要があります。

す。アカウントを IBM 顧客番号と関連付ける方法については、Support Portal の「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
170 Tracer Lane
Waltham, MA 02451
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明するこ

と、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような意図による、クッキーを含めたさまざまなテクノロジーの使用に関する情報は、「IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント」(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja>) の『クッキー、Web ビーコン、その他のテクノロジー』の節を参照してください。



Printed in Japan